

プーチン：「イスラム国は、G20 を含め 40 か国から財政支援を受けている」

【訳者注】これは重要なプーチンの発言なので、Information Clearing House も Global Research も、この RT ニュースをそのまま載せている。いつも指摘していることだが、このプーチン発言も、我々に鬱積した知的・情的もやもやを吹き飛ばしてくれる。最後のロシア機墜落事件についての発言は、明らかに（調べてもない）英政府の墜落原因の断言（機内テロ）を批判していると取れるが、こういう西側の軽挙妄動と比較してみるがよい。今度のパリ・テロ事件に対する仏政府の、即刻の断定と妄動についても同じである。こういうものが我々に“もやもや”を残す。

それにしても、イスラム国を財政支援する国が 40 か国とは驚く（ロシア情報部データが間違っていなければ）。普通に考えて、この中には、従僕国として最も大きい 2 国であるフランスも日本も入ると考えざるを得ないだろう。どうかわからないが、奇怪な話になってきたことは確かである。

By RT

November 16, 2015



プーチン大統領は、イスラム国の財政支援についてのロシア情報部データを、G20 諸国の同僚に明かしたと言っている。それによると、テロリスト集団は、いくつかの G20 メンバーを含め、40 か国から財政的支援を受けている。

サミット期間中に、プーチンは記者団にこう語った——「私は、我々のデータに基づく、個

人による各イスラム国ユニットへの資金援助の例をいくつか話した。このカネは、我々の調査結果によると、40 か国から来ており、G20 メンバー国もいくつか含まれている。」

プーチンはまた、IS による不法なオイル取引を、やめさせるのが急務だとも言った。

「私は私の同僚たちに、原油と原油製品の不法取引の規模をはっきり証明する、宇宙と航空機からの写真を示した」と彼は言った。

「何十キロにも及ぶ燃料補給する車のモーターショーだ。だから4キロから5キロもの高さから見ると、地平線の向こうまで伸びている」と彼は、車両の列をガスか石油のパイプラインに例えて言った。

「今は、どの国が、イスラム国との戦いに効果をあげているか、どの国があげていないか、といったことを詮索している時ではない。今はテロリスト集団に対して、団結した国際的努力が必要だからだ」とプーチンは言った。

プーチンは繰り返して、イスラム国と戦おうとするシリア反政府武装勢力を、支持する用意があることを強調した。

「反政府武装勢力の一部は、ロシアの加勢があれば、IS に対して積極的戦闘を始めることができると考えている。もしそうなれば、それは結果として、政治的解決へ向かうための有効な基礎になりうるだろう」と彼は言った。

「我々は本当に、アメリカ、ヨーロッパ諸国、サウジアラビア、トルコ、イランからの支援を必要としている」と大統領は付け加えた。

プーチンは、ワシントンの、テロリストとの戦いでのモスクワとの、協力のスタンスが変わったことを指摘した。

「我々は、テロ攻撃の防止と、地球的規模でのテロとの取り組みに特に集中して、行動を組織する必要がある。我々は対 IS 対策について、アメリカとの協力を申し入れた。不幸なことに、我々のアメリカのパートナーはこれを拒否した。彼らはただ、“我々はあなたの申し入れを拒否する”と書いた紙切れを送ってよこした」とプーチンは言った。

「しかし人の生き方は常に、とても速いスピードで進化していて、我々にしばしば教訓を与える。そして私は、今、テロに対する効果的な戦いは一緒にやってこそうまくいくという了

解に、すべての人が達しつつあると考える」とロシアのリーダーは言った。

プーチンによれば、第一に決めなければならないことは、シリアのどのグループをテロ組織と考えてよいか、どのグループが、武装はしているが、それでも合法的なシリアの反体制派なのか、ということである。

「我々の努力は、テロ組織との戦いに集中されなければならない。」

プーチンはまた、ロシアのシリアにおける行動に対する、西側の批判に異を唱えている。そこでロシアは、9月30日以来、イスラム国や他のテロ集団との大規模な空爆を行っている。

<https://youtu.be/tf6osc-dBcQ?t=1>

「我々を批判するのは難しいはずだ」と彼は言い、ロシアは何度も繰り返して、外国のパートナーに対し、シリアのテロリスト標的についてのデータの提供を求めてきたと言う。

「彼らは、我々が攻撃してはならない領域を、我々に知らせることを恐れ、まさにそこを、我々が攻撃するのではないかと恐れている。我々が人々を騙すだろうと彼らは思っている」と大統領は言った。

「彼らが我々を見る見方は、明らかに、彼ら自身の人間の品性の見方に基づいている」と彼は付け加えた。

プーチンはメディアに対し、ロシアはすでに、シリアの反政府勢力と接触をしており、彼らはモスクワが、自分たちの支配する領域を空爆しないように求めてきている、と話した。

シナイ半島の飛行機墜落の原因について、まだ結論は出ていない。

10月下旬のエジプト、シナイ半島でのロシア・ジェット機 A321 の墜落原因について、結論を出すにはまだ早い、あらゆる可能な理由が（ロシアの）調査団によって考えられているからだ、とプーチンは言った。

「我々はあらゆる可能なシナリオを知っており、そのすべてが考えられている。最終的結論は、調査が実行され完了した後で出されるだろう」と彼は強調した。

「もし爆発があったのなら、爆発物の痕跡が、この旅客機の覆いと旅客の持ち物に残ってい

るだろう。それは必然的だ。我々は十分な装置と技術をもっており、そうした痕跡を発見できる世界クラスの専門家がいる。それを待った上で、この悲劇の原因について話すことが可能になる」と大統領は付言した。

224人の犠牲者に対し、プーチン大統領は言った——「これは我々すべてにとって、きわめて大きな感情的苦痛だ。すべてのロシア国民にとって——墜落の原因が何であろうと。」